



生活環境部 環境整備課
調整・循環型社会推進班
技師 鈴木 大志

経歴 採用4年目

- H29年 生活環境部 環境整備課
調整・循環型社会推進班
- H27年 入庁
由利地域振興局 福祉環境部
環境指導課
環境・食品衛生班

ある日のスケジュール

- 6:00 起床
- 8:15 出勤、新聞チェック
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 環境省からの調査とりまとめ、
市町村や保健所からの電話
対応
- 11:00 午後の会議の会場準備
- 12:00 昼食
- 13:00 会議受付、会議開始
- 16:00 会議終了、会場撤収
- 16:30 翌日の出張準備、書類作成
- 17:15 退庁
- 18:00 フットサル(社会人チーム)の
練習に参加
- 21:00 帰宅
- 23:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

環境整備課は、循環型社会の推進や廃棄物の適正処理という観点から、県民の生活環境の保全を図るため、廃棄物処理法や各種リサイクル法に関する業務を行っている部署です。

幅広い年齢の職員で構成されているため、困ったことがあっても先輩達の豊富な経験に基づくアドバイスを受けることができ、若手職員でも安心して仕事に取り組むことができます。

わたしは今、こんな仕事をしています

「調整・循環型社会推進班」に所属し、市町村のごみ処理施設の整備や維持管理への技術的助言、国(環境省)との連絡調整等の他、秋田県が目指す循環型社会の実現に向けて、「廃棄物減量化推進セミナー」を開催するなど、県民の3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動への積極参加を促す普及啓発事業も担当しています。

秋田県のここが好き！

大規模な商業施設やテーマパークこそありませんが、秋田にはそれらを凌ぐほど魅力的で豊かな自然があり、季節ごとに違った食や観光、趣味を満喫できるため、遊ぶ場所には困りません。

アウトドア派の方もそうでない方も飽きることなく、充実した日々を過ごせます。

農芸化学職のやりがいはここ！

自身の資格を活かし食品衛生監視員として食の安全・安心を守る業務が第一に挙げられますが、それ以外にも、廃棄物対策業務や大気・水質などの環境保全業務、更には試験研究機関で研究職として従事するなど幅広い分野で活躍することが期待されています。

いずれの業務も県民の暮らしに直結する責任ある仕事であり、その分やりがいも大きいです。また、様々な業務経験を積むことで、県職員としてのキャリアを形成することができます。

オフは何をしていますか？

天気が良い週末は、趣味の海釣りのため男鹿半島の漁港や地磯に出かけることが多く、師匠指導のもとスキルアップに励んでいます。また、定期的に「県庁山に親しむ会」による登山に参加し、所属や年齢の枠を超えた職員間の交流を楽しんでいます。

採用試験の準備はどのようにしましたか？

一般教養、特に数的処理は市販の参考書を使ってなるべく多くの問題を解くようにしました。専門試験は、“美の国あきたネット”で公開している例題を参考に、生物化学や有機化学、微生物学などを学生時代の教科書や講義ノートを使って復習し試験に臨みました。

また、時事問題や面接に備えて、食品衛生や環境関係の新聞記事に注意深く目を通すようにしていました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

農芸化学職は、学生時代に学んだ知識を活かしながら食の安全や環境保全を通じて秋田に貢献できます。ぜひ、秋田県職員として一緒に仕事をしましょう！